

行政視察内容報告書



平成 30年 6月 28日

土佐清水市議会議長

仲 田 強 様

会派名 新市民クラブ

(提出者) 氏 名 武 藤 清



下記のとおり報告します。

項 目	☐ 現地調査 ☐ 行政視察 ☐ 要請・陳情活動 ☒ 研修会への参加 ☐ 会議への参加
参加者	永野 裕夫 西原 強志 武藤 清 計 3 人
期 日	平成 30 年 5 月 27 日 (日) ～ 平成 30 年 5 月 29 日 (火) 3日間
【概 要】 (年月日・場所・内容) ○ 行先 : 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 大分市大字旦野原700 ○ 目的 : 南海トラフ地震後の復興について ○ 講師 : 板井 幸則 氏 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 防災コーディネーター 5月28日 (日)、大分大学減災・復興デザイン教育研究センターにて、10:00 より研修資料、スライド等で説明を受ける。九州は平成28年熊本地震、平成29年 7月九州北部豪雨、9月台風18号、平成30年4月中津市耶馬溪町土砂崩れと連年災 害が頻発している。講師の板井さんからは、これらの様々な災害に対し、現場の 専門家として、実体験に基づく貴重な話を聞くことができた。この研修内容につ いては、土佐清水市議会6月会議 (平成30年6月11日 (月) ～6月26日 (火)) の 一般質問でも取り上げたところであるが、板井さんからは概ね以下の話があった。 ・災害のリスクはどこにでもあり、市民のために何をするのか ・今後は、防災ではなく減災だ ・市長が現場で陣頭指揮をとる (市民に安心感) ・マスコミ対応をしっかりと行う ・想定に捉われず、その状況下で最善をつくせ ・指示待ちになってはダメ、管理職が判断を下せる日頃の訓練が大切 ・家族から犠牲を出さない、出せば前に進めない	

【所 感】

・防災教育は生涯教育

などであった。災害対応は、実体験がないと、なかなか理屈通りには対応できないと思われるが、講演を聞き、知識を身につけることも、また大切であろうと考える。